# 上田市長2期目就任あいさつ

## 元気なまち 花巻市の復活を目

任期満了に伴う花巻市長選挙は1月21日に告示され、 上田東一氏のほかに届け出がなかったため無投票となりまし<mark>た。</mark> 1月28日、選挙会が行われ同氏を当選人として決定。 市民の期待を担う上田市政、2期目のスタート。 就任に当たり、上田市長からごあいさつ申し上げます。

0

指定し、国の支援事業を特に活用の中心部を「都市機能誘導区域」にはける医療・生活・商業のサービス機能を維持していくことを基本とする同計画。その中で花巻地域、東和地域のそれぞれの中心地た。花巻地域、大迫地域、石鳥谷地 ゴ·さら国で3番目に策定しまし平成28年6月に「立地適正化計市街地の再生と地域医療の充実 しながら整備を進めます。

し、さまざまな取り組みを進めてげ、その実現に向けた財源を確保備えを怠らないまち―の5点を掲かな自然環境が守られ、災害への スポー 完遂と推進を図り、市民の皆さま さらに進めます。 が安心して暮らせるまちづくりを いる次の主な項目に掲げる事業の市政を担うに当たり、現在進めて きました。 これから始まる2期目4年間 ツ活動が活発なまち▼緑豊

1月29日、奥山隆市選挙管理委員会委員長から当選証書が付与されました。

市民の声に耳を傾け 選択と集中」で持続的な発展を目指す

がら事業の推進を図ります。の調査─など、国の支援も受けな定▼JR花巻駅の橋上化の可能性どを具体化した移転新築計画の策

止が見込まれるため、石鳥谷・東和業者が運営する支線バス路線の廃

大迫地域では本年10月、民間事

物は、

は、首都圏などからも高い評価花巻産の米やリンゴなどの農産

究分野に力を入れている企業の育

さらに、地場産業を含む開発研

に向け、引き続き事業を進めます。

橋は、現在、橋桁を架ける工事を行

架け替え工事を進めている豊沢

っており、本年8月末の供用開始

機関との協議を継続します。

ンターチェンジ整備を検討。関係 ングエリアに接続するスマー るため、東北自動車道花巻パー

トイ

丰

賑わいのあるまちづくり産業振興で仕事と

に努めます。

賃貸工場や整備の検討を進めてい

商工業分野では、現在整備中の

る産業団地も活用し、企業の誘致

行)の受け入れ態勢を構築します。 検討。インバウンド(訪日外国人旅 手段となる二次交通の整備などを

地域で実施している当日予約乗合

スの導入を予定。各地域の中心

巻図書館の建設場所と施設機能な宅の整備▼子育て世帯を対象とした災害公営住宅の整備▼新花の整備▼新花のを開びまる。

設。今後も市民の皆さまが子育て どもを預かる病後児保育室を開

しやすい環境整備を進めます。

移転支援▼エセナ跡地への広場整 中核を担ってきた総合花巻病院の

昨年は、病気が治りかけている料の減免・補助などを継続します。

に、空港から県内市町村への移動 航空会社)の誘致を進めるととも

輸送などに要する時間の短縮を図本市や北上市の立地企業が製品

通渋滞の解消を目指します。

する復職支援金の貸し付けや保育

ター

便や定期便、LCC(格安

ものの、家庭で保育ができない子

この計画に基づき▼地域医療

子育て支援の充実

とした医療費助成制度の創設を検る軽減を図るため、中高生を対象子育て世帯の経済負担のさらな じます。 待機児童を解消するため、公立

育士の確保策として、保育士に対れ体制を拡充します。不足する保整備を進め、3歳未満児の受け入 では県内初となる小規模保育園 0

を得ています。

ぶ幹線交通の維持を図ります。 とともに、旧4市町の中心地を結 部と周辺部の交通手段を確保する

どを行います。生産コストの抑制に対する支援な ICT(情報通信技術)を活用した農地の有効活用を図るとともに、 に向け、取り組みを引き続き実施。市の基幹産業である農業の振興

みを実施します。海外からのチ関と連携し、一丸となった取り組 「いわて花巻空港」の利用促進を図 るため、県をはじめとした関係機 観光分野では、県内唯一の空港

> 就職先の確保にも努めます。成に取り組み、理系大卒者の 市内

市民の利便性・安全の確保 国道4号花巻東バイパス南

す。しかし2車線道路になってい急搬送や通院路線になっていまでの区間は、県立中部病院への救(山の神地内)から北上市村崎野ま 4号4車線拡幅整備」を要望し、交が発生。このため、国に対し「国道 ることが要因で慢性的な交通渋滞

市民と共に市政を推進

して国の地方交付税による多額の財政支援を受けられる合併特例債財政支援を受けられる合併特例債財政支援を受けながら将来の市民負担を最小限にとどめ、市の持続的な発展を目指し、「選択と集中」により事業を進めていく必要があります。 助金のほか、元利金の償還財源と 市の財源が限られる中、国 0 補

を進めていきます。 ております。今後4年間、市民の皆これまで以上に必要であると考え き、市政に取り入れていくことが、 員が市民の皆さまの意見をよく聞 そのためには、私をはじめ、市職

**5** 2018(H30).2.15

育て・教

市長就任以来、市政の重占と
して▼産業振興が図られ

派興が図られ、仕事の重点項目

育環境が整

、子どもがたくまし

らせるまち▼豊

かな文化が薫り

ービスが受けられ、安心して暮ってのまち▼必要な医療や福祉